資料配布の場所・日時
1．筑波研究学園都市記者会
2．国土交通記者会
3．国土交通省建設専門紙記者会
4．北海道庁道政記者クラブ
5．札幌市政記者クラブ
6．北海道開発記者クラブ
7．（株）建設行政新聞社
日時：令和 8年 11月 10日（14:00）

国立研究開発法人土木研究所
令和 8 年 11 月 10 日

橋の見えにくい損傷にどう備えるか
～鋼材の破断と床版の踏み抜きへの対応～

床版橋と呼ばれる種類のコンクリート製の橋で、橋を横方向に締め付ける鋼材（横締め PC 鋼材）が腐食して切れ橋の外に飛び出す事例や、軽量化のため内部を空洞にした部分の上面が抜け落ちる「踏み抜き」の事例が確認されています。

本研究では、これらの損傷事例の収集、現地調査を通じて、調査や対策などの維持管理に関する経験・知見を集約しました。また、実験を通じて対策方法に関する知見を集約しました。さらに、鋼材が切れた橋や、空洞部分が荷重に耐える性能などを数値解析で検討しました。これらを基に、点検、調査、対策、損傷発生時の緊急対応の手順と留意点を整理しました。本成果により、床版橋の適切な維持管理と安全性の確保につながることが期待されます。

ホームページに上記の「共同研究報告書」を掲載しました

1． 掲載資料

○共同研究報告書　＊共同研究に係わる研究の成果をまとめたもの。

資料 NO	タイトル	担当者
644	コンクリートの床版橋の保全に関する研究	橋梁構造研究グループ 先端材料資源研究センター 他

2． 掲載先　以下のウェブページから閲覧できます。

○共同研究報告書　ＵＲＬ：https://thesis.pwri.go.jp/public_kanko/110/2026/

【問合せ先】　国立研究開発法人 土木研究所　企画部 業務課　課　長　増尾（ますお）　健（たけし）
主　査　片岡（かたおか）　貴之（たかゆき）
電話番号　０２９－８７９－６７５４